

「探究の6段階岡山一宮MODEL」を活用し、探究の過程取り入れた授業実践記録

氏名		教科	公民
実施日時	10月10日	科目	公共
単元	政治参加と選挙	授業タイトル	選挙に未来を変える力はある？ ない？
探究のポイント(課題設定や指導上の工夫、中心的な発問、活動への仕掛けなど)			
・選挙に未来を変える力はあるかないかについて、誰もが納得する考えを述べる。その具体的な根拠として、官公庁、報道関係が示しているデータを元に、根拠ある説明ができるよう調査・考察・発表の順で探究を行う。			

今回焦点を当てた段階にチェックしてください(複数回答あり)

- ☐ 01:テーマ・課題⇒仮説 ☐ 02:研究・検証計画 先行研究調査
☒ 03:実験・観察 調査・研究 ☐ 04:結果の処理・モデル化
☒ 05:考察・推論 ☒ 06:発表 論文作成

探究6段階	授業内容
03	0 授業紹介(授業見学者がいる場合は生徒に授業紹介をさせています) 1 質 問(アイスブレイクです) ・いつ衆議院解散がされましたか？ ・いつが衆議院選挙ですか？ 2 既習事項の振り返り(時間によってはカットするかもしれません) 3 めあての確認 4 2021年衆議院議員総選挙のデータを把握する 衆議院選挙投票率推移データを見た後、別のデータから、「候補者のあなたが重視する政策」を選択しFormsに答える。 5 「候補者」Formsの入力内容を共有する。 6 「有権者」Formsの入力内容を共有する。 7 入力内容の共有 ・有権者が実施してほしい政策は・・・ ・候補者は当選するためには訴える政策は・・・ 8 問題提起 「10代・20代の声は本当に届いているの？」 「選挙に未来を変える力はあるのだろうか？」

05	9 根拠のグルーピング（Office365のホワイトボードを使用します） ※入力したフォームの結果だけから判断するのは短絡的なので、データを集め選挙に未来を変える力が「ある」「ない」の根拠をグルーピングする。 参考資料：総務省、公益財産法人明るい選挙推進協会、日本財団、NHKクロージアアップ現代のHPを資料として用います）
06	10 もくもくタイム（Office365のチャネルを使用します（チャットみたいなものです）） ★チャットルームルーブリックを使用します。 ↑chatGPTで条件設定したプロンプトを入れて作成したものです。 ・自分の考えを見える化（文字・文章化）し、考えをブラッシュアップしていきます。 ・会話無く個人での活動ですが、グループでの活動になっている（はず）です。
	11 振り返り① →共有：クラス全体の改善点を後半の活動で補うために焦点化します。
06	12 討論 ★スパイダールーブリックを使用します。 「選挙に未来を変える力はある・ない 誰もが納得するあなたの考えを述べなさい」
06	13 ペリカンタイム（時間によってはカットするかもしれません） ・各グループが話した内容を別のグループへ共有する時間です。 ・「聞く力」「話す力」の醸成を意識した活動です。
	14 スパイダールーブリックによる評価 ・グループ協議のもと、本日の最高評価者を選出します。
	15 振り返り② ・前半の振り返り①からの変容を確認します。
	16 まとめ

「探究の6段階岡山一宮 MODEL」を活用し、探究の過程取り入れた授業実践記録

氏名		教科	公民
実施日時	令和7年2月13日	科目	公共
単元	社会保障	授業タイトル	社会保障の考え方
探究のポイント 設定した仮説に対する質問を作成し、その質問を分類する過程で思考を収束させていく。			
・探究の6段階 01 をベースに授業を構成してみました。			

今回焦点を当てた段階にチェックしてください（複数回答あり）

- | | |
|------------------|---------------------|
| ■ 01：テーマ・課題⇒仮説 | ■ 02：研究・検証計画 先行研究調査 |
| □ 03：実験・観察 調査・研究 | ■ 04：結果の処理・モデル化 |
| ■ 05：考察・推論 | □ 06：発表 論文作成 |

探究6段階	授業内容
01	【仮説】 少子高齢化による社会保障給付費の負担は、出生率を向上させることで解決することができる。 めあて 仮説に対する質問を深掘りすることで、仮説の正誤の根拠を示すことができる。 i C I-③ 情報分析力 「情報を組み合わせて課題解決に活かすことができる」 II-⑤ 構成力 「結論」から「理由」そして「具体例」という順序で話すことができる。 0 今日のめあてとゴールの確認 1 社会保障制度の現状について
01	2 仮説に対する質問の精選（個人） : 発散思考 3 質問の提示（以下グループ）
05	4 質問の分類①「開かれた問い」「閉ざされた問い」 : クリティカルシンキング 5 質問の分類②「質問の回答を4象限に分類」 : 収束思考

	6 質問の選択 「真理を探究するための質問の選択」
	7 WB を用いて、スパイダーマップを作成しながら、深掘りをしていく。
	8 交換留学タイム
	9 振り返りとまとめ

「探究の6段階岡山一宮MODEL」を活用し、探究の過程取り入れた授業実践記録

氏名		教科	公民
実施日時	令和6年11月25日	科目	公共
単元	経済	授業タイトル	金融のしくみとはたらき
探究のポイント 前時に学習した内容をもとに、法定通貨の価値がどのように決まるのか、金融機関の果たす役割がどのようなものかについて探究する。			
・中学校でも内容を扱っているため、中学校の学習内容を振り返ることを導入とした。			

今回焦点を当てた段階にチェックしてください（複数回答あり）

- | | |
|--|---|
| ☒ 01：テーマ・課題⇒仮説 | ☒ 02：研究・検証計画 先行研究調査 |
| ☐ 03：実験・観察 調査・研究 | ☒ 04：結果の処理・モデル化 |
| ☒ 05：考察・推論 | ☐ 06：発表 論文作成 |

探究6段階	授業内容
	・中学校学習内容のふり返し ・2019 年 KT 本試験【信用創造】
0 1	① 日本のお金のこれまで ② 日本円の価値を決めているのは？ 金本位制と管理通貨制度
0 2	③ 海外旅行に行きましょう ・ハワイ・ラスベガスの旅 ・対ドル 為替レートの推移 日本円の外国為替レート 2024 年 11 月 26 日 為替レート 2010 年 1 月 1 日 為替レート
0 5	④ 金融機関を利用して 100 万円をどうやって増やす？ ・金利が高い銀行 アジア編

0 2	・金利が高い銀行 日本編 ・中国銀行金利 ・トヨタ 年利 ・S&P500 年利 ⑤ 金利のしくみについて ・振り返り
-----	---

「探究の6段階岡山一宮MODEL」を活用し、探究の過程取り入れた授業実践記録

氏名		教科	公民
実施日時	令和6年11月8日	科目	公共
単元	経済	授業タイトル	私たちと経済
探究のポイント R&D（研究開発）を通して、社会で求められているニーズについて探究する。			
・新規商品を開発する過程で、国や地域にあった産業があり、生産を分業することの有為性を学びつつ、市場の役割について考察を深める。			

今回焦点を当てた段階にチェックしてください（複数回答あり）

- | | |
|--|---|
| ☒ 01：テーマ・課題⇒仮説 | ☒ 02：研究・検証計画 先行研究調査 |
| ☐ 03：実験・観察 調査・研究 | ☒ 04：結果の処理・モデル化 |
| ☒ 05：考察・推論 | ☐ 06：発表 論文作成 |

探究6段階	授業内容
0 1	めあて :経済活動の「分業」「財・サービスの交換」を新作ピザメニューを通じて考える。 iC :各自で設定
0 2	探6 :01・02・04・05 HP :会社の HP
0 5	【参考資料】
0 2	企業の役割の説明 経済の三主体の説明・役割・関係性など ①中学校の振り返り ②教科書 p114～115 の学習 ③グループワーク:研究・開発(R&D)にチャレンジしよう ・研究開発部長のもとアイデアを出そう！

Live Fierce Pizza の新作アイデアフォルダ

- ①メニューの名前
 - ②価格
 - ③アレルギー対策(原料を全て記載する)
 - ④イメージ画像
 - ⑤このメニューを提供するまでにかかる時間
 - ⑥ターゲットとする客層
-

④研究・開発(R&D)したオススメメニューの決定

→ピザができるまでにかかる予想時間は？

⑤ピザに必要な原材料

⑥原材料から分業について学ぶ

⑦我が社を成長させるため、M&A を行うとしたら？【テーマ】

M&A とは？

・合併(Merger) : 二つ以上の企業が合併して新しい企業を作ること。
例: 2 つの企業が 1 つに統合され、事業規模を拡大する。

・買収(Acquisition): 一方の企業が他方の企業を買収し、支配権を握ること。
例: A 社が B 社を完全には買収する。

⑧M&A 計画 ←ここに入力する

※買収に必要な金額は今回は考える必要はありません。

※入力をしたシートでプレゼンをしてもらいます。

・M&A の事例(世界と日本) ←参考資料①

・Live Fierce Pizzaが買収を検討すべき分野 ←参考資料②

「探究の6段階岡山一宮MODEL」を活用し、探究の過程取り入れた授業実践記録

氏名		教科	公民
実施日時	令和6年10月18日	科目	公共
単元	政治	授業タイトル	働くということ
探究のポイント 新入社員の採用担当の立場として、会社の求める人材をプレゼンするための資料作成を通じて、社会で求められる力を考えよう。			
・机上の空論にならないように、授業内容で紹介している官公庁の資料を参照に、プレゼン資料を作成する。			

今回焦点を当てた段階にチェックしてください（複数回答あり）

- | | |
|--|---|
| ☒ 01：テーマ・課題⇒仮説 | ☒ 02：研究・検証計画 先行研究調査 |
| ☐ 03：実験・観察 調査・研究 | ☒ 04：結果の処理・モデル化 |
| ☒ 05：考察・推論 | ☐ 06：発表 論文作成 |

探究6段階	授業内容
	●設 定 (1)あなたは新入社員の採用担当です。 0 1 (2)あなたの<u>会社のHP</u>を元に、この企業が成長するために必要な人材(必要な力)についてプレゼン資料を作成してください。 0 2 (3)プレゼンの時間は2分30秒です。資料枚数5枚以上で作成してください。上限はありません。 0 5 <u>※プレゼン対象は、就活をしている大学生をイメージしてください。</u> 0 2 (4)必要な人材(必要な力)の根拠は、添付している資料 ①教科書「働くということ」「多様な職業選択」 ②「内閣府資料」「経済産業省資料」「厚生労働局資料」(②はいずれか一つ以上) に触れながら述べること(空論にならない) 0 6 (6)高校時代に特に学んでおくべき教科についても、その具体的な理由とこれまでの既習内容に触れながらプレゼンをすること。その際に、<u>R5 STEAM</u>

	シラバス(1年生の全教科の学習内容一覧)を参考とすること。※ただし、「英語」以外とします。 (7)終了後、質疑応答も行います。 ・振り返り
--	--

「探究の6段階岡山一宮MODEL」を活用し、探究の過程取り入れた授業実践記録

氏名		教科	公民
実施日時	令和6年10月1日	科目	公共
単元	政治	授業タイトル	内閣のしくみと役割について
探究のポイント 行政改革について理解を深めるため、生徒会組織を行政組織に見立てて、スリム化をすることがもたらす効果を考える。			
・メリットとデメリットを提示し、それらを反転（メリットがデメリットになる、デメリットがメリットになる）させるためにはどのような手段が有効かを考える。			

今回焦点を当てた段階にチェックしてください（複数回答あり）

- | | |
|--|---|
| ☒ 01：テーマ・課題⇒仮説 | ☒ 02：研究・検証計画 先行研究調査 |
| ☐ 03：実験・観察 調査・研究 | ☒ 04：結果の処理・モデル化 |
| ☒ 05：考察・推論 | ☐ 06：発表 論文作成 |

探究6段階	授業内容
	生徒会組織図から考える
0 1	テーマ：生徒会組織図を行政組織に見立てたとき、部活動のスリム化にあなたは賛成？反対？
0 2	・オフィス 365 で生徒会組織図を PDF にしたものを確認する。
0 5	・生徒会組織をスリム化することでもたらすメリットとデメリットを考え、フォームで送信する。 ・全体の考えを見た後、現在の考え「賛成・反対」を集約する。
	スパイダー討論
0 4	賛成派と反対派のどちらの立場でも討論を行い、最終的に自分の考えをまとめ、発表する。 ・振り返り

「探究の6段階岡山一宮MODEL」を活用し、探究の過程取り入れた授業実践記録

氏名	〃	教科	公民
実施日時	令和6年 9月17日	科目	公共
単元	政治	授業タイトル	国会のしくみと役割について
探究のポイント首相公選制について、メリット・デメリットはについて考える			
・メリットとデメリットを提示し、それらを反転（メリットがデメリットになる、デメリットがメリットになる）させるためにはどのような手段が有効かを考える。			

今回焦点を当てた段階にチェックしてください（複数回答あり）

- | | |
|--|---|
| ☒ 01：テーマ・課題⇒仮説 | ☒ 02：研究・検証計画 先行研究調査 |
| ☐ 03：実験・観察 調査・研究 | ☒ 04：結果の処理・モデル化 |
| ☒ 05：考察・推論 | ☐ 06：発表 論文作成 |

探究6段階	授業内容
01	・メリット・デメリットに対する「質問」を作成する。 ・そこから、質問を分類し、深掘りしていく質問を選択する。 メリット 1. 民主的な選出：国民が直接投票で首相を選ぶことで、政治の透明性が向上する。 2. 責任の明確化：首相の選出が国民の手に委ねられるため、政策の責任が明確になる。 3. 政治参加の促進：国民の政治意識が高まり、選挙への関心が増す。 4. 政策の多様性：異なる候補者が多様な政策を提示することで、選択肢が広がる。 5. リーダーシップの強化：人気のある候補者が選ばれやすく、政治的リーダーシップが強化される。 6. 政党への依存度低下：有力な候補者が個人として支持を集めることで、政党の影響力が相対的に減少する。 7. 選挙キャンペーンの活性化：候補者が国民に対して積極的にアピールするため、選挙活動が活発化する。 8. 国民の意見反映：国民の意見やニーズがより反映される可能性が高くなる。 9. 不正防止：公選制により、権力の集中や不正行為のリスクが減少する。 10. 国際的な信頼性向上：他国に対して民主主義の一環として信頼性が高まる。 デメリット 1. 過度な選挙活動：候補者が当選のために過剰な選挙活動を行うことで、政策実現が遅れる可能性がある。

	2. 短期的視点の強化: 有権者の人気を重視するあまり、長期的な政策が後回しにされることがある。 3. 候補者の質の低下: 人気取りのためのキャッチーな公約が重視され、政策の実効性が軽視される可能性がある。 4. 政治的分裂の促進: 候補者が多様化することで、政治的対立が激化しやすくなる。 5. 資金力の影響: 財力がある候補者が有利になるため、資金力が政治的影響を与える危険がある。 6. 選挙疲れ: 選挙が頻繁に行われることで、国民が選挙に対する関心を失う可能性がある。 7. 一極集中のリスク: 特定の地域や支持基盤に偏った候補者が選ばれやすく、全国的な視点が欠けることがある。 8. 無関心層の拡大: 国民が候補者や政策に対して無関心になり、選挙に対する投票率が低下する可能性がある。 9. 政治的ポピュリズムの台頭: 短期的な人気を追求する候補者が台頭し、真のリーダーシップが損なわれる恐れがある。 10. 内部対立の激化: 政党内の派閥や個人間の対立が強まり、政局の不安定化を招くことがある。
0 2	・ 公選制を実施している国の実例を集め、実態を把握する
0 4	・ グループになって結論を出す。
0 6	・ 根拠をホワイトボードにまとめ、全体に発表する。 ・ 振り返り